

大分工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	校外実習
科目基礎情報						
科目番号	10055		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	無し.					
担当教員	小山 幸伸					
到達目標						
(1) 専門分野での自分の知識を確かめ、さらにそれを発展させることができる。(報告書, 報告会) (2) 企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えができる。(報告書, 報告会) (3) 研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら、問題を解決する手段や方法を学ぶ。(報告書, 報告会)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	専門分野での自分の知識を確かめ、さらにそれを大きく発展させることができる.		専門分野での自分の知識を確かめ、さらにそれを発展させることができる.		専門分野での自分の知識を確かめ、さらにそれを発展させることができない.	
評価項目2	企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えを十分にできる.		企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えができる.		企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えができない.	
評価項目3	研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら、問題を解決する手段や方法を学ぶのみならず、実際に問題を解決できる.		研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら、問題を解決する手段や方法を学ぶ.		研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら、問題を解決する手段や方法を学んでいない.	
学科の到達目標項目との関係						
当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力 JABEE基準1(2)(d) 協力して問題を解決する力を身につける 大分高専学習教育目標(D2)						
教育方法等						
概要	学校では学習できない企業現場での就業体験を通じて、専門分野での自分の知識を確かめ、さらに発展させるとともに、本科における勉学の目標を明確にし、将来の自分の進路を決める際の一助とするものである. また、「企業が要求する技術者像とは何か」をこの実習を通して学び、それを今後の学習に生かし、社会人、職業人としての基本的な心構えを学ぶ.					
授業の進め方・方法	(1) 専門分野での自分の知識を確かめ、さらにそれを発展させることができる。(報告書, 報告会) (2) 企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えができる。(報告書, 報告会) (3) 研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら、問題を解決する手段や方法を学ぶ。(報告書, 報告会)					
注意点	(1) 校外実習の詳細については、学生便覧「大分工業高等専門学校における校外実習、課題学修および特別学修に関する細則」を参照 実習先企業の厚意で、実習を受け入れて頂いているので、迷惑をかけないように注意をする 事前に校外実習先の企業を充分調べておくこと					
評価						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	(1)ガイダンス		クラス担任によるガイダンスの実施	
		2週	実習先の決定		クラス担任を通して実習先に申し込む	
		3週	実習		実習期間は一週間以上とする	
		4週	報告書の提出		「校外実習報告書」をまとめクラス担任に提出する	
		5週	実習報告会		実習の内容や成果について発表する	
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	報告会の評価	校外実習報告書	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0